

市民の声を しっかり拾って！

勝川議員が 弱い立場を守る質問



勝川議員
一般質問録画



掛川市議会
ホームページ

◎勝川議員の質問◎

●市からの回答●

1.自衛隊への個人情報の提供は市民に知らせて拒否もできるようにするべき

- ◎自衛隊への市民の個人情報の提供は罰則もなく、拒否している自治体もある。
- ◎データを渡したくない市民が申し出て拒否できるシステムが必要では。

- ◎2013年から18歳になる市民の住所・氏名を紙で渡している。自治体以外例がないが自衛隊施行令に基づき防衛大臣の要請で実施している。【市長】
- ◎拒否できるシステムは検討する。【市長】

自衛官募集のために防衛省に18歳等の住民基本台帳の情報を提供している市区町村は2019年度で719自治体(全国の41%) ※台帳の閲覧を認めている自治体は多数ある

議場での主張 近年自衛隊が戦争をする軍隊へとその性格をかえていっている中、自衛隊を特別視して国の言うなりに情報提供するのが本当に平和憲法の遵守をする自治体の責務なのか、という根本を問いたいです。

2.生理用品の無償配布は誰でも気軽に受取れる制度に変更を

- ◎掛川市では生理用品の配布は申告制で申込書に書き込まないと受取れない。まず誰でも利用できるように制度を見直し、生活相談などに訪れやすくする工夫を。
- ◎保健室に経済的理由で生理用品を取りに来るケースはない。学校のトイレに生理用品の配備をする自治体が広がっている。

- ◎困窮者支援と考えている。検討する。【市長】
- ◎学校が相談しやすい場所となるようにしていく。トイレ設置は現場で必要ないという声もあることから、調査検討する。【教育長】



焼津市では
まずは手をさしのべて！



議場での主張 困窮者支援としてだけではでなく、女性の健康に生きる権利保障の観点で捉え直しが必要！

3.学校の再配置計画の策定は総合的な観点で

- ◎モデル地区(原野谷・城東)で行なったのは、小中一貫教育のための施設のあり方検討。学校が持つ様々な役割(防災拠点・地域コミュニティの核・スポーツの場など)の検討はされていない。総合的機能のあり方の検証はどうするのか。
- ◎市は一貫校をバラ色に言うが、歴史の浅い一貫校は検証が始まったばかり。失敗例などからもしっかり学んでほしい。

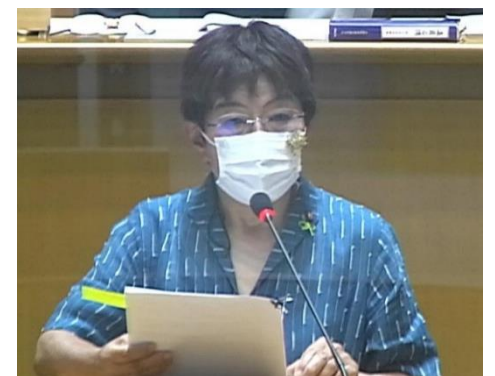
- ◎学校は教育以外の機能もある。統合複合化いいのか、代替え施設が必要になるかなど検討していく。地域ごとに答えは異なる。【市長】
- ◎課題についても承知している。子どもファーストでよりよい教育環境は、という観点でいく。【市長】

議場での主張 学校は国の財政支出が大きい。国のすすめる統廃合に対峙して地域を残すために学校を残しているところもある。コロナの教訓もいかし、しっかりとした論議を。

4. 困っている人を取り残さないコロナ対策を

- ◎ワクチン接種は予約枠を確保して「いす取りゲーム」のようなことはさせないで。ネットが使えない人も取り残さない対策と情報の開示を。
- ◎抗原検査キットの活用は。
- ◎今困っている市民に届く新たな支援策を。

- ◎枠をしっかりと確保して予約を開始する。取り残される人が出ないように対策をする。【健康福祉部長】
全庁体制で乗り切っていく。【市長】
- ◎PCR検査につながらない無症状者に活用していく。【市長】
- ◎感染症対策の施設整備に新たな施策を開始する。困っている人がなかなか声をあげられないというのはそのとおり。本当に困っている人に支援が届くよう検討していく。【市長】



9月定例会の日程(案)

- ・9/1(水)本会議(開会)
- ・9/14(火)本会議(一般質問)
- ・9/15(水)本会議(一般質問)
- ・9/16(木)本会議(一般質問など)
- ・9/23(水)常任委員会(決算)
- ・10/1(金)本会議(閉会)

議場での主張 経済対策や困窮者支援をしっかりと。SNSで声を拾っているだけでは、声をあげない人の声は聞こえません。